

資料 5 平成 19 年度市民の声を聴く課に寄せられた「提言」

担当課	内 容	回 答
企画調整課	<p>栗山町の「エコマネー」の主旨がすばらしい。</p> <p>一人暮らしの高齢者が市に頼んで家の前を除雪してもらったり、食事を持ってきてもらったりしているが、自分でできる人は自分でやって、そういう人は市のお金を使っていないのだから、市から地域で使えるお金を出すべきだ。</p> <p>また、高齢者の家の除雪や食事の支度、介護が必要な人の世話などをしてくれた人に対しても市役所が地域で使えるお金のようなものを渡せば、石狩市内でしか使えないから地域の活性化にもつながるし、高齢者の負担も少なくて済む。石狩市でもぜひ取り組んではどうか。</p>	<p>栗山町で取り組まれているような地域通貨(エコマネー)とは、コミュニティに属する方々の信頼関係をベースにしてお互いが助け合うことを目的に、限られた地域内で流通する性質をもつもので、住民参加型のまちづくりに大きく寄与していくものと考えられる。</p> <p>したがって、ご提言のような単に市役所が補助金的に地域に供給するようなものでは、生活弱者に対し行政が一方的に提供する一施策であり、地域通貨の本来目的とする「住民参加」、「相互扶助」という本来の趣旨を達成する手段とは成り難いものと考えられる。</p> <p>しかしながら、地域通貨の流通は介護、福祉などの分野に限らず環境、教育など様々な分野でのまちづくりに貢献することが期待できることから、各所管において地域コミュニティで活躍する各種活動団体とともに地域通貨普及の可能性について検討していきたい。</p>